

プログラム実施方法

1. オンライン研修会および集合研修会

- 令和2年度内は、新型コロナウイルス感染症拡大による感染防止の観点から前半の2回（8月・10月）は集合研修会を自粛し、ネット環境を利用したオンライン研修会とし、後半の2回（12月・令和3年2月）は集合形式の研修会を予定する。
- オンライン研修会の実施は、1日3時間で5日間のプログラムとし、実施時間は対象コーチが参加できる時間を調整する。また、第3回および第4回の研修会は今後の状況の変化により、オンライン研修会への変更も視野に入れて行う事とする。
- 集合研修会は、各回ともに2泊3日を基本としてプログラムを構成する。
- 集合研修会会場は日本体育大学東京・世田谷キャンパスを予定し、隣接する日本体育大学ゲストハウスを宿泊施設として利用する。また、講師らも同じ施設へ宿泊することで、夜間にもゲストハウスのラウンジにて学習プログラムを展開する予定である。日本体育大学ゲストハウスが利用できない場合には付近のホテルを宿泊先とする。
- 集合研修会を行う場合、対象コーチは託児所やベビーシッター等を利用することができ、本プログラムより活動費支援を行う。
- 各回プログラムを5ブロックから構成し（別表2、研修会プログラム案参照）、1ブロックあたり3時間の時間配分を予定する。集合研修会の場合、1日目午後、2日目午前・午後、3日目午前・午後、オンライン研修会の場合は1日3時間を5日間に渡り実施することで、いずれの実施形式でも同様の学習時間を確保できるようデザインする。

2. オン・ザ・ジョブトレーニング（以下：OJT）

- 各研修会の間をOJT期間とする。
- OJTの実施場所は主に推薦母体が提供する申請者専門種目の指導現場（チーム）や中央競技団体が主催する強化事業への帯同を想定しているが、それらの実施場所で対象コーチがどのようにコーチングスキルを向上させるのかが明確になっている必要がある。応募段階ですでに推薦母体でコーチとして活動している場合、これまでの活動内容と同一であると見なされるものについては活動費支援の対象とならないので注意すること。
- 対象コーチが効果的に自身のコーチングスキル向上を実現させるためのOJT内容例を以下に示した。実際にどのようなOJTを実施するかについては本プログラム事業室と連携し決定していく。
 - アクションラーニング（実践を通して省察を繰り返しながらコーチングスキルを向上させる取り組みをいう）を取り入れたコーチング実践
 - メンターや本プログラム事業室スタッフ、または本プログラムの同僚となる他の対象コーチの観察や評価が伴うコーチング実践
 - 本プログラムの同僚となる他の対象コーチのOJT観察機会
 - 推薦母体が提供する普段のOJT実施場所と異なる環境下（より高い競技水準を有する他チーム等）でのコーチング実践
 - 以上のような活動が伴う試合や合宿等での遠征帯同
- OJTについては本プログラム事業室スタッフが直接現場をモニタリングしたり、インターネット通話を用いて支援を行うことで、より効果的な学習を担保する。
- 本プログラムで同僚となる他の対象コーチがOJTを実施しているところを観察する場合、本プログラム事業室スタッフが同行し、対象コーチ達の学びのファシリテーションを行うことが出来る。
- OJTは下記のメンタリングと組み合わせて行う。

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、OJTが実施できない場合は対象コーチの選定後に個別に修正案を検討する。

3. メンタリングの実施

- 対象コーチは、自らの学びを支援するメンターを設定する。
- 推薦母体からメンターを選出することも可能であるが、必ずしも内部者である必要はない。また、応募段階でメンターを設定する必要はなく、採択後に本プログラム事業室がマッチングの支援を行う。
- メンターは特に受講者のOJTに関する相談を受け、OJTができるだけ円滑に進むように支援する。その他、必要に応じてさまざまな相談にのる。
- メンタリングの頻度はOJT期間中（研修会第1回後～第8回前）3ヶ月に最低1回を実施し、対象コーチおよびメンターから書面による報告書の提出を義務づける。

4. 海外研修

- 各年度1回、計2回の海外研修を行う。
- 訪問先は、女性エリートコーチのロールモデルが多く得られ、英語によるコミュニケーションが可能なカナダ、ニュージーランド、イギリスの内から各年度1カ所を選択する。それぞれ、カナダコーチング協会、スポーツニュージーランド、英国スポーツ研究所と連携して研修を実施する。

5. 国際ショーケース・カンファレンス

- 女性エリートコーチ育成事業の広報、対象コーチのプレゼンテーションおよびファシリテーションスキルトレーニング、女性エリートコーチ活躍を妨げている各種障壁をなくしていくためのムーブメント推進、社会の意識改革、および女性エリートコーチ予備軍の養成を目的に各年度1回、計2回の国際ショーケース・カンファレンスを開催する。
- 開催時期は令和3年2月実施予定の第4回研修会、および令和4年2月実施予定の第8回研修会にあわせて実施する。
- 国際ショーケース・カンファレンスでは本プログラムの対象コーチだけでなく、ロールモデルとなり得る女性エリートコーチ等を海外から登壇者として招聘する。
- 参加者が外国人登壇者の話の内容を理解できるように、同時通訳システムを準備する。
- 会場は日本体育大学東京・世田谷キャンパスの記念講堂を予定する。